

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	良く なっている やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・大河ドラマ放映が始まり、例年寒さのため人通りがなくなる時期に多くの人々が来店している。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・売上が良くなっている。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・1月に入り、売上、来客数、客単価共に上がっている。前月不振であった衣料も気温の低下で数字が改善できたのが、売上が伸びた要因である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・2キロ先で道路の拡張工事を長期で行っているの で、仕事をする人の出入りが多くなっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣のコンビニが閉店したため。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・1月20日いっぱい付近の工事が終了した。締め の客数は20名～30名、金額で2万円くらい落ちたが、前 年度よりは5%増で推移している。
		家電量販店（店長）	競争相手の様子	・今月は初売りから客の出足が好調であった。競合店 が前年5月に1店舗撤退したため、客数が増えて来た ことによるものとみられる。後半の急激な気温低下も 手伝い、暖房商材も好調に推移し、今月は売上トータ ルで前年比10%増しで着地となった。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・初売りから決算期に向けて、受注が増加してきてい る。
		住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・降雪や気温の低下もあり、12月まで低調であった灯 油や暖房機器といった冬物商材の動きが良くなった。 初売り期間中の来客数も前年度より向上し、少しずつ であるが持ち直している感がある。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・忘年会はあまり良くなかったが、今月に入ってから 宴会の動きが割と良い。前年より良くなっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3か月前と比較すると良いが、前年の1月と比べる と落ち込んでいる。
		通信会社（社員）	お客様の様子	・値上げの噂により、駆け込み需要が増している。
		ゴルフ場（総務部長）	来客数の動き	・予約状況がやや増加傾向である。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・前年まで進められる設計がほとんどなかったが、今 年に入り何物件か、設計を進められるようになってい る。
		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・消費税増税をあと14か月後に控え、顧客の動きが始 まったようである。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・年が変わったためか、アパート、マンション等の問 い合わせ、移動が少し増えてきた。毎年のことだが、 1～3月は転勤等があるので、多少活発化して、引き 合い等も増える。店舗の方も少し問い合わせが増えて きている。ただし、土地の方についてはまだ安い物件 しか引き合いがない。	
変わらない		商店街（代表者）	お客様の様子	・学校販売での鞆の受注状況を見ると、中学生は平均 で60～65%くらいしか買わない。人からもらうとか借 りするという通称お下がりが多くなっているの、非常 に困る。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・例年だと同窓会やクラス会の記念撮影の注文が数件 入ってくるが、今年は1件であった。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・正月は休みが多くて、皆出かけているので、我々の ような小さな店は売行きが落ちた。また、大雪の影 響があったので、客が来てくれない。我々も動き が取れない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・商品の動きも少なく静かな年明けである。相変わら ず必要な物は購入するが、余分な物は売手の提案、施 策にもものってこない。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・18日に降った大雪の影響が長引き、単純な売上累計 が前年比で極端な低下を招いているが、大雪が降る前 までは3か月前と変わらない状況だった。衣料品が秋 口から引き続き不振で、パーゲン価格になった今でも 伸び悩んでいる。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・今月は天候が悪く、18日の大雪により5日間ほど売 上が大きく減少した。冬物セールの実需期に売上が落 ちてしまい、後半に取り戻すのは非常に厳しい。

百貨店（副店長）	来客数の動き	・初商い、クリアランスは前年を大きく超えることはないものの、まずまずのスタートを切ることができた。しかし、突然の寒波到来で雪が2回降り、大打撃を受けてからというもの、全く回復する気配がない。来客数は10%前後減ったままである。普通は天気の回復に伴い来客数も増えるが、不要不急の外出をしないためか客が戻らない。また、コートの実需期には暖冬であったが、今ごろになって寒波が到来し、本当にタイミングが悪い。
スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・季節的に天候による客数の変動があるが、客単価の変動は見られない。チラシの効果を期待するも、大きな変動はない。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・年末年始の来客数は前年比3～7%増加したが、動きとしては必要品の購入は財布のひもが緩く、それ以外の買物には慎重である。景気回復感が地方まではまだまだの気がする。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・前年と比べ来客数や販売量に大きな変化はない。新製品がキャンペーンで出ると、そちらに若干動くが、その分通常品が減り、プラスマイナスゼロで変わらない。
衣料品専門店（統括）	販売量の動き	・今月の中ごろは天候が非常に悪くなり、雪が降ったため、客が出鼻をくじかれたような状態で、ほとんどの客が出て来なかった。販売が非常に悪い状況である。
衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・3か月前は相当悪かったが、原油安の影響で12月は幾分人の動きが出て、これまで比較的支出が少なかった生活に密着した部分での消費が出てきていた。しかし、1月に入ってからは12月の反動が出ている。例年の1月中旬以降は同様の状況かと思うが、急に寒くなったことも相当影響している。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・相変わらず車両販売は低迷している。客から聞く話では、景気が上向きになったという報道等に疑心暗鬼になっている声が多いため。新年を迎え、当県での各業種企業アンケートで、今年は景気が良くなると思うと答えた企業が1社もないことになった。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・販売量は少し増えたが、軽自動車を中心である。売上高は15%くらい下がっている。収益は整備売上中心の展開である。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・例年1～2月はどうしても販売台数が少なく、車検や整備関係の入庫も少ないので、従来通り落ち込みが激しい。今年に入り、新車の話や中古車の高額車両の動きは全くなく、悪い。
乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・新車購入を検討する人、修理や点検、車検の入庫も減っている。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量は例年とほぼ近いところにはあるが、販売に至るまで成約の時間がかかり過ぎたり、販売量が今一つ届かないところが目立つ。
住関連専門店（店長）	販売量の動き	・1月中旬より気温が下がり、ストーブ、こたつ、寝具などに少し動きが見られたが、12月までの売上減少分をカバーできていない。在庫も多く残っており、見切りが多くなるのが、心配である。
その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・販売量は約10%増加しているが、前年比では約3%減少している。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客単価が非常に落ちている。客の様子からうかがうと、収入があまり変わらないか落ちているかで、お金はあまり使わない。
観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・今月はふるさと旅行券の影響と暖冬のおかげで、客の入込は大変良い。ただし、ふるさと旅行券は3か月前も実施しており、秋から冬にかけて良い状況が継続しているため、3か月前と比較すると変わらない。
都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・1月は最閑散月のため、ある程度の落ち込みは想定内であるが、例年と比べても宿泊、料飲共に販売量の伸びが悪い。
旅行代理店（所長）	来客数の動き	・新年としてのにぎわいは一過性のものであった。大雪などもあり、出控えも進んでしまったため、数字は伸び悩んでいる。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・客からの問い合わせや来店数が伸びていない。
旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・販売量に顕著な伸びが見られない。

	タクシー運転手	販売量の動き	・前年は12～1月と雪が多かったが、今冬の12月は雪がなく暖かく、1月も上旬まで雪がなかったため、1月の初めは動きが悪かった。
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・各業界の新年会は例年通りあるが、2次会等の動きは少ないように見受けられ、前年同月と比べて、1%の減少である。
	タクシー（役員）	お客様の様子	・待っているの人の動きから、変わらない。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新規加入は相変わらず低調で、関心も薄い。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・石油価格の低下などによる株価への影響もあり、積極的な消費は感じない。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購入単価共、ほとんど変化が見られない。
	美容室（経営者）	それ以外	・成人式を迎える全体の人数が減っているにもかかわらず、美容室で着付けをする客が、前年に比べて少しずつ増えている。少し明るい話題も出てきている。
	その他サービス【葬祭業】（経営者）	お客様の様子	・新聞等での広告で、客の反応の手応えはあるが、葬儀はそう頻繁に起こるわけではない。
	その他サービス【立体駐車場】（従業員）	お客様の様子	・3か月前と比べ、来客数に関して、旅行業者の方は若干増えているが、その他のホテル、家電量販店、コンビニなどの利用は横ばいである。総体的には売上に関しても横ばいのため、変わらないと判断している。
	その他サービス【イベント企画】（職員）	お客様の様子	・スポーツイベントは、種目によっては全国的にブームになるが、地方では人の動きはあまり変わらない。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・年明けから少し情報が入りだし、ここ数か月の低迷から少し上向きになっている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・気候の要因ももちろん大きいのだろうが、冬物や防寒物はバーゲンをしても売行きは鈍い。年始にもかかわらず、街中に出てくる人も少なく、通りはいつものようにがらである。閉店する店の噂は多いが、新規開店の話はほとんどない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・暮れのボーナスが出て、正月に買物するのを期待していたが、今年は正月というのに普通の月よりも悪いくらいに感じたので、どうなっているかと心配している。
	一般小売店【衣料】（経営者）	販売量の動き	・学生服販売をする店なので、多少客がみえて、商売になっているが、一般の方の購入がなかなかうまくいかない。
	一般小売店【家電】（経営者）	販売量の動き	・客の購買意欲が、なかなか感じられない。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・クリアランスセールが始まったが、暖冬の影響もあり、紳士、婦人衣料の売上は依然低迷している。
	百貨店（店長）	来客数の動き	・寒さの関係で、年配者の来店数が減っている。
	スーパー（統括）	販売量の動き	・最高気温が連日10℃を超える暖冬の影響もさることながら、メモを持って買物する姿が目立ち、1人当たりの買上点数が落ち込むなど、生活防衛意識がより顕著になりつつある。
	スーパー（副店長）	それ以外	・スキー場が隣にいくつもあがるが、今年は例年になく雪不足でスキー客が減っており、業者からの注文も減っている。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・正月三が日を過ぎると、急激に来客数、販売数共に少なくなることは例年のことだが、1月後半は特に商材があまりないので、大分苦戦した。季節的な雪などについては例年より影響は少なかったが、あまり良い結果は得られていない。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・自動車の販売店だが、月を追うごとに悪くなっている。客が全然いない。以前と比べてもそうだが、特に、前年と比べて本当に少ない。前月まではほぼ同じかなと思っていたが、1月に入って前年の正月とは全く違う状況で、来客数があまり見込めないため、販売も見込めない。
	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・原材料費がじわじわと上がってきているため、売価に転嫁せざるを得ない状況である。一方、消費者の可処分所得は変化していないため、販売量は減少してきている。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ここ数年、忘年会シーズンと同様、新年会も盛り上がり欠ける。

		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新年会等の予約以外、フリーの客の動きがとても悪い。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・前年同期に比べると1割程度売上が落ちている。客単価は若干上昇しているが、来客数の減少が大きい。宴会の予約件数も減少しており、特に、50名以下の宴会の受注件数が減っている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・暮れや新年のお金の使い方から、どうも客の動きが悪いような気がする。
		旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・海外情勢が悪く、海外旅行、業務渡航の相談や来客数が少ない。国内旅行は以前と変わらない。全体から見ると来客数も落ちているようである。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・年始休みが短くても、温暖な天候であったことから来客数が伸びたが、その後寒波の影響から、反転して、来客数が大幅に減少している。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・雪国ながら雪がほとんどない年末年始であったため、近隣スキー場は1月中旬までオープンできず、周囲の宿泊施設も影響を受けている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・年末、正月にかけて華やかな感じではなかった。着飾る人も少なく、美容にはお金をかけてくれない。競合店を外から見る限り、にぎわっているようには思えない。当店は昔からの顧客が多いので、来客数の減少といってもまだ影響は少ないかもしれない。何年か前にはかなり流行っているのでライバル視していた店が急激にさびれている。若い客は東京などに流れているのかもしれない。
		その他サービス [自動車整備業]（経営者）	単価の動き	・自動車整備、主に車検は当面合格する範囲のみでの注文が多く、近々予測されるメカニカルダメージは起きてから整備するとし、財布のために我慢する動きが拡大している。板金塗装では任意保険の割引改正で、多くの加入者が保険使用に踏み切れず、我慢する状態が顕著になり、自腹修理箇所の節減や値引きを迫られ、工賃単価の低下につながっている。
		その他サービス [貸切バス]（経営者）	来客数の動き	・名刹の7年に1度の大祭があるため、旅行を取りやめている。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・3か月前と比べてもかなり少ない。今月は稼働日数も少ないため、かなり厳しい状況である。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・今冬の雪不足が入込に影響している。
	悪くなっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・年末年始の買い控えからか、来客数が減ってきて、悪くなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今年になって1月は、非常に深刻なほど仕事がない。1日の営業が10回前後、2～3時間に1回程度しかできていない。新年会等も少なかったようである。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・個人、法人共、先行き不安から財布のひもが一層固くなっている。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・販売量は月ごとに低下している。非常に危機的状況である。
		ゴルフ場（支配人）	それ以外	・新年を迎え第3週まで好調な入場状況だったが、その後の大雪のため、2週間クローズし、出勤調整などで、経費を抑えている。プレイヤーは年配者が多いため、非常に厳しい状況である。
企業動向関連 (北関東)	良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・輸用量が増加している。
		その他製造業 [環境機器]（経営者）	受注量や販売量の動き	・発電事業については、前月末の連携で、計画の60%まで進み、合計3.5メガの自社開発、設計、建設の発電所となった。3本目の事業柱として、借入れは大きいものの不労所得に近いと、良くなっている。
	やや良くなっている	食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・1月の晴天に加えて、ガソリン価格の下落による影響で来場者数は増加し、売上金額も前年実績をクリアしている。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・1月は年末まで少しばたばたしたせい、受注が少なかったが、2月はやや回復している。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・少しずつではあるが、全体的に仕事の引き合いが増えてきている。停滞が続いている油圧建機業界でも、次の開発案件が出てきている。	

	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・今月に入り全国的に寒気が入ったため、気温の低下により、冬物、特に暖房、ストーブ、石油ファンヒーターなどの荷動きが良くなり、輸送量も例年並みの確保となった。また、燃料価格が下がったことにより、利益の確保にもつながっている。
変わらない	食料品製造業（製造担当）	それ以外	・原油価格が下がっても、原油を材料としている製品の値下げがない。原材料も含めて高い価格のままなので、利益を出していくのが大変である。
	化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・この時期は、受注、出荷量が落ち込む傾向があるが、予想していたより大きく落ち込んでいる。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年、冬期は受注の谷間ではあるが、新商品の受注等、いくらか動きがある。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・例年に比べ、思ったほど動きがない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一部多忙になっている企業もあるが、コストが厳しく利益が出ない。どんな仕事でもかき集め続けている。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・昨年から引き続き、1月もますますの状況である。取引先と受注量等で、忙しいところと暇なところいろいろあるが、総じて変わらない。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年度末に向けた時期でもあり、特段動きがないというのが現状である。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・景気に対する先行きへの不透明は続いており、企業も慎重姿勢が続いている。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・企業収益は現状維持もしくは増加傾向にあるが、季節商材などの個人消費に弱さが見られる。
	金融業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・自動車関連や建設業といった一部企業は受注があるが、それ以外の業種は単価競争でなかなか利幅が取れない状況である。
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・定期的に管理業務を行っていたところが急きょ今月の作業をキャンセルし、今後についても契約を継続するかどうか検討すると言われた。その他、大雪により作業が延期になり、今月の業務は減っている。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・小売店のいくつかは、正月三が日の売上が前年並みにあったようだが、前半の暖かさと突然の大雪で客足が鈍り、伸びなかったようである。チラシ出稿量は前年並みのほぼ100%となっている。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・変わらないという答えにしたが、やや悪くなっているというほどでもないけど、やはりやや悪くなっているに近い変わらないということである。
社会保険労務士	取引先の様子	・中小企業で賞与を出した事業所は、横ばいの額というところが多く、毎年出さない事業所は出なかった。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・特段の変化は見られない。
やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・先月も年度末の在庫状況によって2～3月の生産調整をするというような話をしたが、どうも在庫量が多くなっているようなので、製品の上積みせず、かえって生産調整、減産をしている。非常に当社としては苦しい動きである。
	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・建設業を営んでおり、公共工事が主体で売上比率は90%である。安倍政権のもと2年以上続いてきた公共工事が、今年度は前年比88%と大きく減額になった。建設業は10年以上もの間続いた不況業種であり、会社は財務面でも大変厳しい状況である。現政権のもと何とか生きのびてきたが、ここへ来て厳しくなってきた。今後は心配である。
	不動産業（経営者）	取引先の様子	・空室が目立つのに、新築物件が増加している。
	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・12月末から1月にかけて、以前取引をしていた会社の倒産が3社もあった。さらに、1社が店舗を閉店して事業縮小している。偶然かもしれないが非常に多い。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・建設関係は引き続きやや繁忙と言え、食品、衣料等の個人消費関連もわずかに上向きである。飲食業等は盛り上がり欠ける。
悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年と変わらず、メインの取引先からの電話システム、送受話器組立の受注が芳しくない。取引先の生産が伸びていないことによるものである。

		その他製造業 〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・年明けの株の暴落、中国の景気後退で、年明けの宝飾業界は静かである。今年を占う今月開催された国際宝飾展でも売上が落ち込んでいる。
雇用 関連 (北関東)	良くなっている	人材派遣会社 (支社長)	求人数の動き	・営業せずとも日々依頼が入っている。詳細を聞くのも時間的に大変なくらいである。
	やや良くなっている	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・前年に比べ、稼働率、客入りが非常に良い。3～4社、取引先に値上げ交渉をしているが、どの企業でも当社の置かれている状況を理解頂け、ある程度値上げに応じてもらえている。
		人材派遣会社 (管理担当)	求人数の動き	・1月としての落ち込みが少なく、また、派遣求人企業も増え、良くなっている。
	変わらない	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・今の仕事は忙しくもなければ、暇でもない。普通である。これからも、特別忙しくなる予定はない。
		人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・正月の出費が増えたせいか、どこの量販店も客が少ない、というよりもない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・食料品製造業、電子部品製造業、情報通信業、卸、小売業で新規求人が前年より大きく増加しており、依然として事業所の求人意欲は高い状態にあるが、前年より減少している業種も多く、全体の増加幅は徐々に少なくなってきた。
		職業安定所（職員）	それ以外	・求人数及び求職者数共に減少傾向であるが、有効求人倍率でみると、1.10倍前後で推移している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・土木建築で造成が一部、それから緑地関係の整備、屋外施設の整備が動き始めたところで、増改築等ではまだ動きとしてはごく少ない方かなという感じである。製造業では工業団地で求人募集をかけているが、前年並みかやや落ちているようにみられる。衣料品関係は一進一退である。青果物が少し高騰してきている。
		求人情報誌製作 会社（経営者）	求人数の動き	・例年1月は3か月前と比べると景気は落ち込む。求人も積極的に募集している企業は少ない。
	悪くなっている	-	-	-